



室戸ユネスコ世界ジオパーク 環境・防災学習プログラム（2022年度）

100～150年の間隔で発生する南海トラフ地震。

いつか訪れる巨大地震に備えた防災対策が、室戸市では進められています。

「自然災害からどう自分たちの身を守っていくのか」

室戸ユネスコ世界ジオパークの主に教育機関を対象にした環境・防災学習プログラムでは、体験を通して大地の活動を理解し、自然災害との向き合い方を考えます。

1. 内容

① 室戸世界ジオパークセンター自由見学（約15分）

「私たちが大地の上で暮らしている」ということを心から実感できるのがジオパーク。ジオパークセンターで館内展示を見ながら、日本の室戸を例に、人と自然との関わりを考えます。

② 室戸ユネスコ世界ジオパーク解説（約30分）

「海と陸が出会い、大地が誕生」する室戸の地の成り立ちと、そこで暮らす人々の生活について、地球科学の専門家よりお話しします。室戸ならではの豊かな自然の恵みや、一方で向き合わなければいけない災害など、プログラム参加者の学習レベルに合わせて解説します。

③ 大地誕生の最前線を歩く、室戸岬ガイド（約50分）

個性豊かなガイドが新日本八景に選ばれた名所、室戸岬を案内します。不思議な形をした岩の群衆、迫力満点のアコウの木など、目に飛び込んでくる独特の景観のワケを知ること、大地の壮大なストーリーを体感します。

④ 津波避難シェルターを見学（30分）

日本で唯一の津波避難シェルターの見学を通して、南海トラフに面した室戸市で進められている防災の取り組みを知り、自然災害との向き合い方を考えます。

2. 時間

約3時間（移動時間含む）

※見学人数や見学者の年齢、スケジュールに合わせて、調整可能です。

3. 料金

一人当たり 3,300 円(税込)

- ・引率教員も生徒と同様の料金となります。
- ・当日の利用人数を確認の上、後日銀行振り込みにてお支払いいただきます。
- ・当日キャンセルの場合、キャンセル料が発生します。

4. 見学場所の移動について

ジオパークセンター、室戸岬、津波シェルター間の移動手段につきましては、お客様に手配をお願いしております。車両の大きさや数に応じて、各見学地での駐車場所をご案内させていただきます。

5. 雨天時の対応について

室戸岬ガイドと、津波シェルターガイドの一部は屋外見学となりますが、カッパ着用で見学できる程度の雨であれば対応可能です。声が聞き取りづらくなる程の強い雨が降ることが予想される場合は、ご相談のうえ、見学内容の変更をさせていただきます。

6. お申し込み・お問い合わせ

室戸ジオパーク推進協議会

TEL : 0887-22-5161

MAIL : info@muroto-geo.jp

7. 都呂津波避難シェルターとは

高知県室戸市佐喜浜町都呂地区は、東側を海岸、西側を急斜面の山に挟まれており、安全な避難路や避難場所の確保が難しい状況でした。一方で地区住民の高齢化は進み、負担の少ない短時間避難が可能な施設が必要とされていました。

こうした背景のなか、2016年に完成した日本初の崖地用津波避難シェルターは、水平移動での避難を可能とし、71名の収容スペースが確保されています。また、衝突防止柱、二重の水密扉、外気の供給を行う換気設備等、避難者の命を守るための設備が施されています。

